

## 第3章 子育て支援活動 <調査項目>

- 第1節 未就園児の親子登園 ……P61-66
- ① 〈0-2歳児〉 親子登園の有無・平均来園組数 ……P61
  - ② 〈3歳児〉 親子登園の有無・平均来園組数・頻度・内容・担当・保険・料金 ……P62
- 第2節 様々な子育て支援活動 ……P67-70
- ①実施の有無・今後の意向 ……P67
  - ②園が子育て支援活動を行うことへの意識（選択形式） ……P69
  - ③園が子育て支援活動を行うことへの意見や要望（自由回答） ……P70
- 第3節 預かり保育 ……P71-75
- ①実施有無・対象・実施日・終了時刻・担当者・定員・利用者数 ……P71
  - ②活動内容・必要な教材 ……P74
  - ③今後の予定 ……P75
  - ④実施する予定がない理由 ……P75

## 第3章 子育て支援活動 <調査結果 要約>

### 第1節 未就園児の親子登園

- ① 【0-2歳児の親子登園】 国公立の40.6%、私立の59.7%が行っている
- ② 【3歳児の親子登園】 国公立の52.4%、私立の63.2%が行っている
- ② 【3歳児の親子登園】 実施の頻度は「月に1-3回」が多い
- ② 【3歳児の親子登園】 (実施園のうち) 私立の65.7%は「主に子育て支援活動にかかわる教員」が担当している
- ② 【国公立：3歳児の親子登園】 (実施園のうち) 8割以上の園が、料金を徴収していない
- ② 【私立：3歳児の親子登園】 (実施園のうち) 有料の場合、1回あたりの料金は「500円未満」が17.0%である

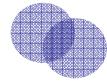
### 第2節 様々な子育て支援活動

- ① 【実施率】 国公立ともに「園庭開放」「園の教職員による子育て相談」を行う割合が高い
- ① 【今後の意向】 (非実施園のうち) 今後の実施意向が高い活動は、「子育て相談」である
- ② 【活動への意識(選択式)】 「期待」も大きい、「負担」も大きいと感じている
- ③ 【活動への意見や要望(自由回答)】 行政や自治体に支援を願う声も多い

### 第3節 預かり保育

- ① 【実施率】 国公立の47.9%、私立の90.3%が実施している
- ① 【実施日】 (実施園のうち) 私立の9割以上が、「平日に毎日」行っている
- ① 【担当】 (実施園のうち) 私立の67.0%は「主に預かり保育にかかわる教員」が担当している
- ② 【活動内容】 (実施園のうち) 「自由遊び」「絵本や紙芝居の読み聞かせ」が多い
- ③④ 【今後の意向】 (実施園のうち) 今後については、8割以上が「現状のままでよい」と回答している

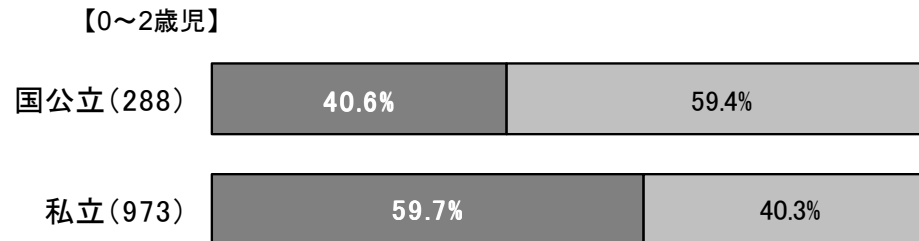
## 【0-2歳児の親子登園】 国公立の40.6%、私立の59.7%が行っている



### ■ 0-2歳児の親子登園の有無(2歳児は就園している場合を除く)

※無答不明を除く

0~3歳児の親子登園について、おたずねします。  
あてはまる番号に○をつけてください。



(受け入れている園のみ)

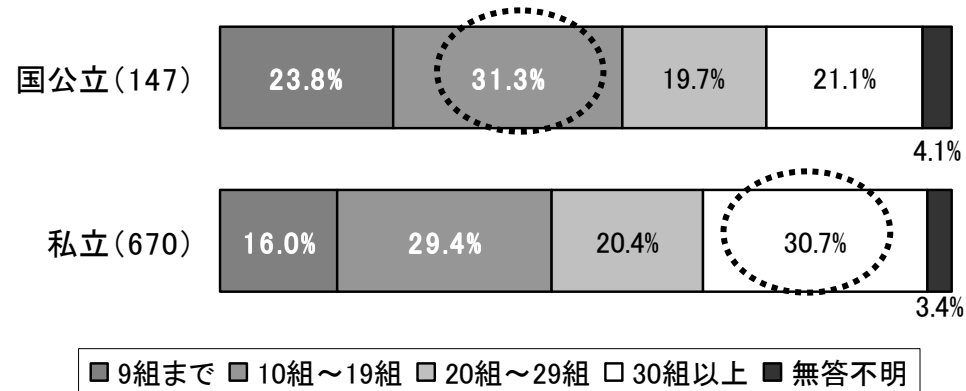
受け入れている  受け入れていない

### ■ 0-2歳児の親子登園:実施日の平均来園組数

実施日の平均来園組数を記入してください。

【0~2歳児】

※記入された組数をもとに分類した



国公立の40.6%、私立の59.7%が、0~2歳児の親子登園を行っている。受け入れている園のうち、実施日の平均来園組数は、国公立では「10~19組」が最も多く31.3%、私立では「30組以上」が最も多く30.7%である。

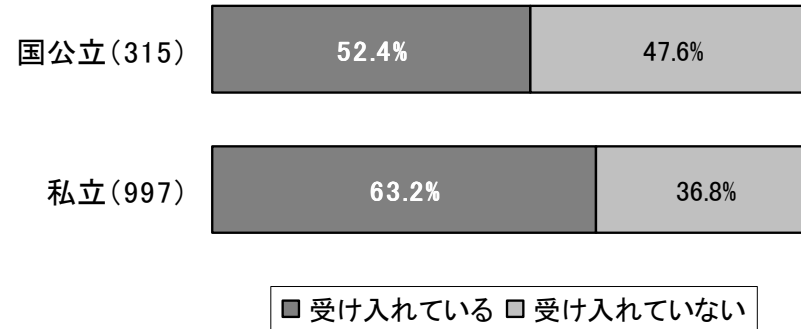
## 【3歳児の親子登園】 国公立の52.4%、私立の63.2%が行っている

### ■ 3歳児の親子登園の有無（就園している場合を除く）

0～3歳児の親子登園について、おたずねします。  
あてはまる番号に○をつけてください。

【3歳児】

※無答不明を除く

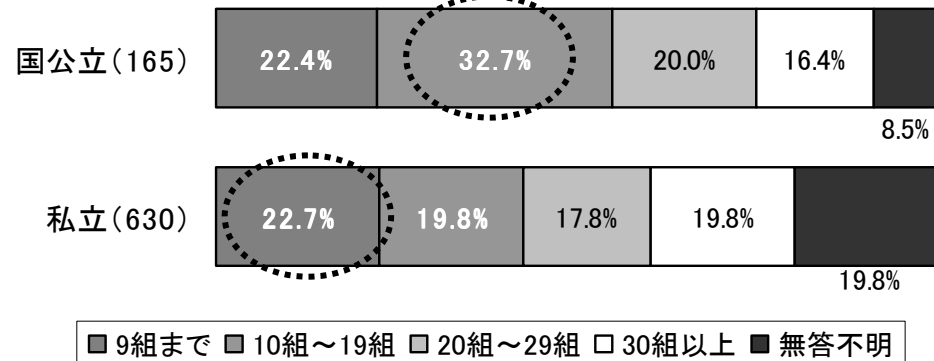


（受け入れている園のみ）

### ■ 3歳児の親子登園：実施日の平均来園組数

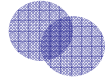
実施日の平均来園組数を記入してください。

【3歳児】



国公立の52.4%、私立の63.2%が、3歳児の親子登園を行っている。受け入れている園のうち、実施日の平均来園組数は、国公立では、0～2歳児の親子登園と同様に、「10～19組」が最も多く32.7%で、私立は「9組まで」が最も多く22.7%である。

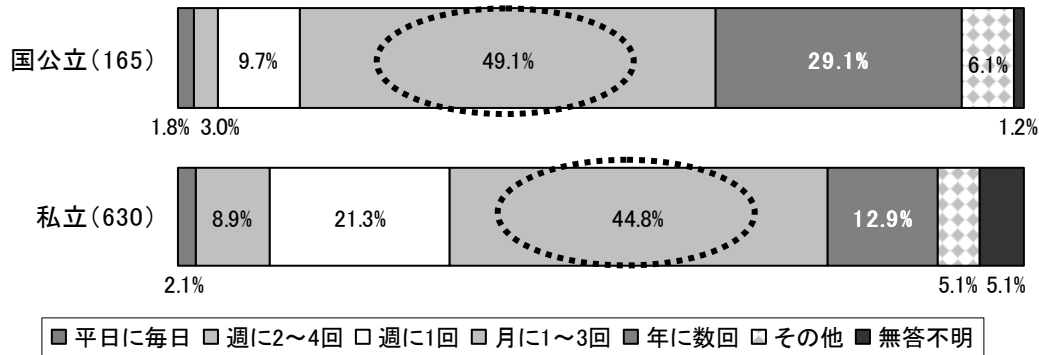
# 【3歳児の親子登園】実施の頻度は「月に1-3回」が多い



(3歳児の親子登園を実施している園のみ)

## ■ 頻度

頻度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

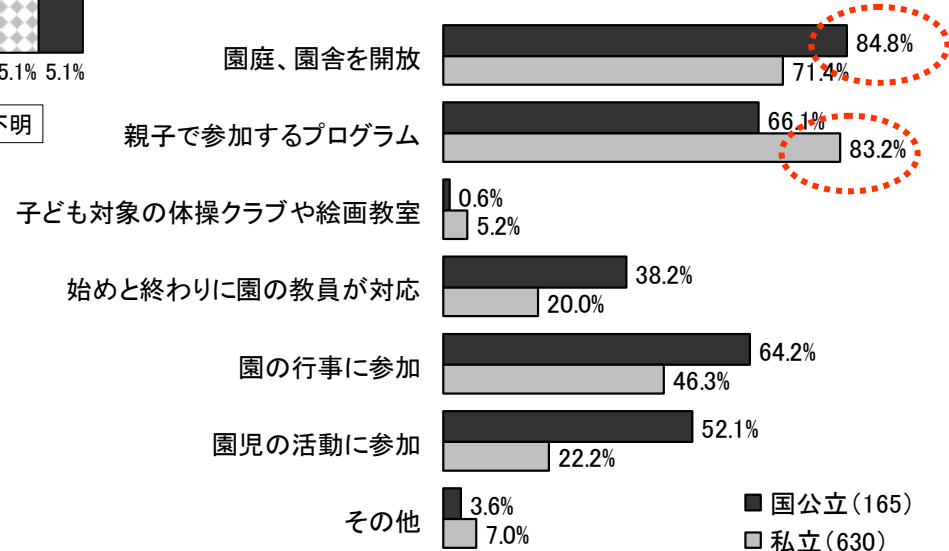


(3歳児の親子登園を実施している園のみ)

## ■ 内容

内容について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

※複数回答

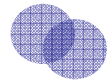


3歳児の親子登園を実施している園のうち...

〈頻度〉 国公立ともに頻度は「月に1~3回」が最も多く、国公立は49.1%、私立は44.8%である。次に、国公立では「年に数回」が29.1%、私立では「週に1回」が21.3%と続く。

〈内容〉 国公立は多い内容から順に、「園庭、園舎を開放」が84.8%、「親子で参加するプログラムがある」が66.1%、「園の行事に参加」が64.2%である。私立は、「親子で参加するプログラムがある」が83.2%、「園庭、園舎を開放」が71.4%、「園の行事に参加」が46.3%の順となっている。

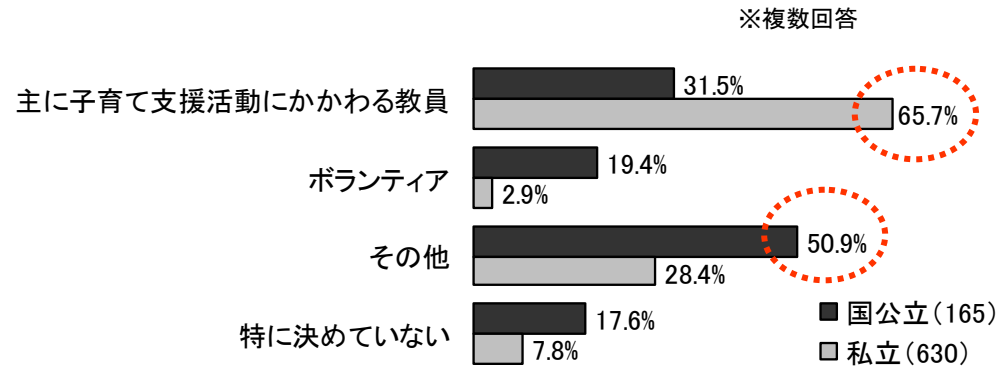
## 【3歳児の親子登園】 私立の65.7%は「主に子育て支援活動にかかわる教員」が担当している



(3歳児の親子登園を実施している園のみ)

### ■ 担当者

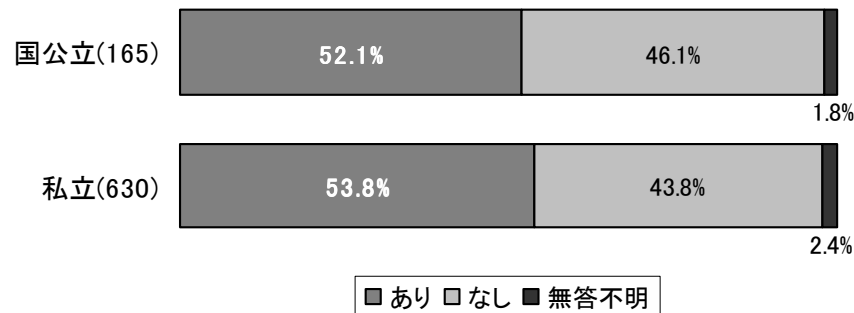
担当者について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。



(3歳児の親子登園を実施している園のみ)

### ■ 保険加入の有無

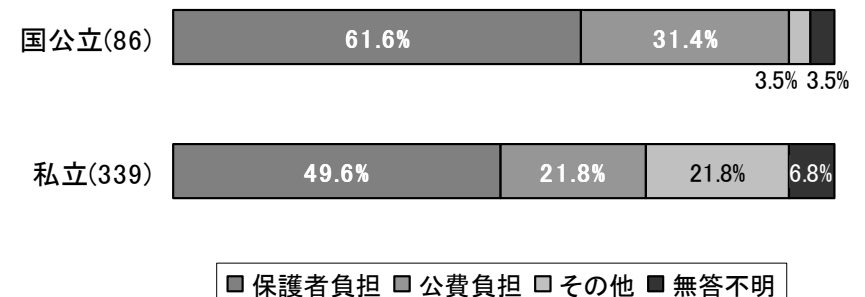
保険加入について、あてはまる番号に○をつけてください。



(保険加入がある園のみ)

### ■ 保険の費用負担先

費用負担について、あてはまる番号1つに○をつけてください。



3歳児の親子登園を実施している園のうち...

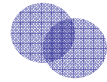
〈担当者〉 国公立は「その他」が最も多く50.9%で、私立は「主に子育て支援活動にかかわる教員」が最も多く65.7%である。

「その他」の内訳は、「園長」「教員が交替で」「主任」「フリー教員」などの回答が多い。

〈保険加入の有無〉 国公立の52.1%、私立の53.8%が、「保険加入あり」と回答している。

〈保険の費用負担先〉 保険加入がある園のうち、国公立の約6割、私立の約5割が「保護者負担」としている。

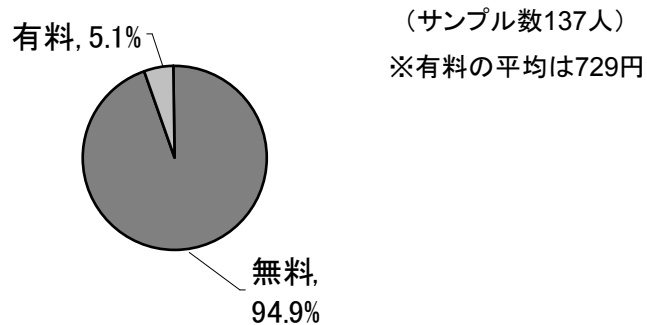
## 【国公立:3歳児の親子登園】 8割以上の園が、料金を徴収していない



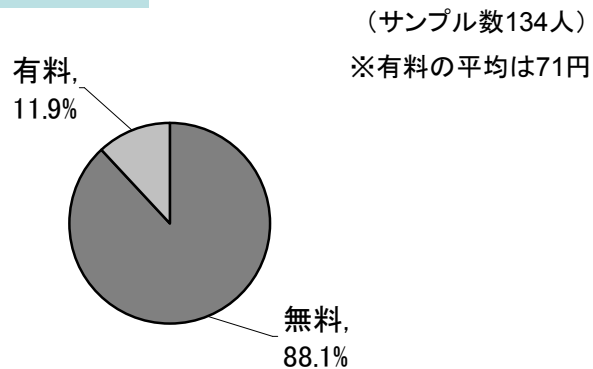
### ■登録料

料金の徴収について、それぞれに数字を記入してください。料金がかからない場合は「0」円と記入してください。

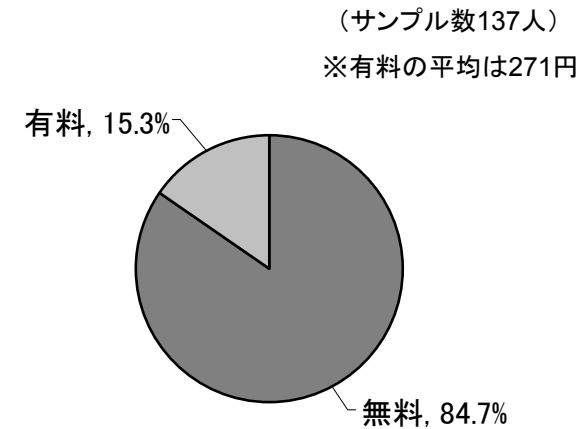
※以下すべて、3歳児の親子登園を実施している園のみ。  
無答不明を除く。



### ■1回あたりの料金



### ■その他(教材費やおやつ代など)※保険料は含まない



3歳児の親子登園を実施している園のうち...

〈登録料〉 国公立の94.9%は無料で、有料の平均は729円である。

〈1回あたりの料金〉 国公立の88.1%は無料で、有料の平均は71円である。

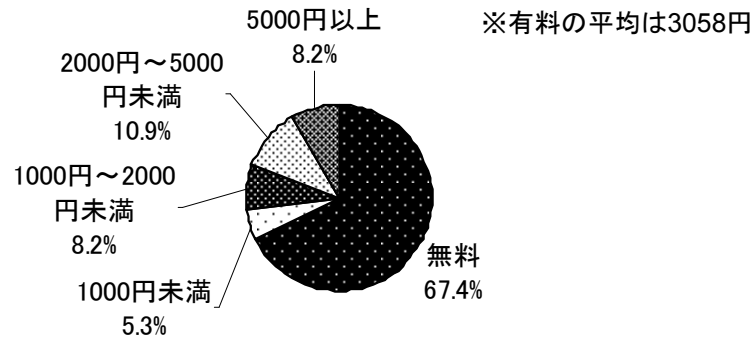
〈その他〉 国公立の84.7%は無料で、有料の平均は271円である。

## 【私立:3歳児の親子登園】 有料の場合、 1回あたりの料金は「500円未満」が17.0%である

### ■ 登録料

(サンプル数488人)

※以下すべて、3歳児の親子登園を実施している園のみ。  
無答不明を除く。

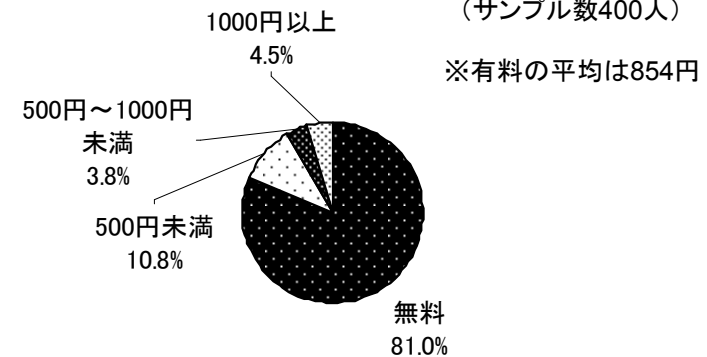
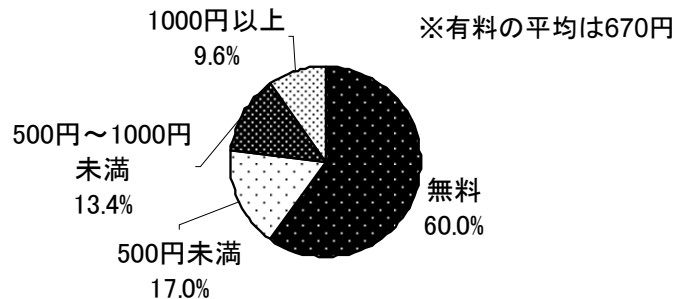


### ■ 1回あたりの料金

(サンプル数477人)

### ■ その他(教材費やおやつ代など)※保険料は含まない

(サンプル数400人)



3歳児の親子登園を実施している園のうち...

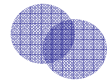
〈登録料〉 私立の67.4%は無料で、有料の平均は3058円である。

〈1回あたりの料金〉 私立の60.0%は無料で、有料の平均は670円である。

〈その他〉 私立の81.0%は無料で、有料の平均は854円である。

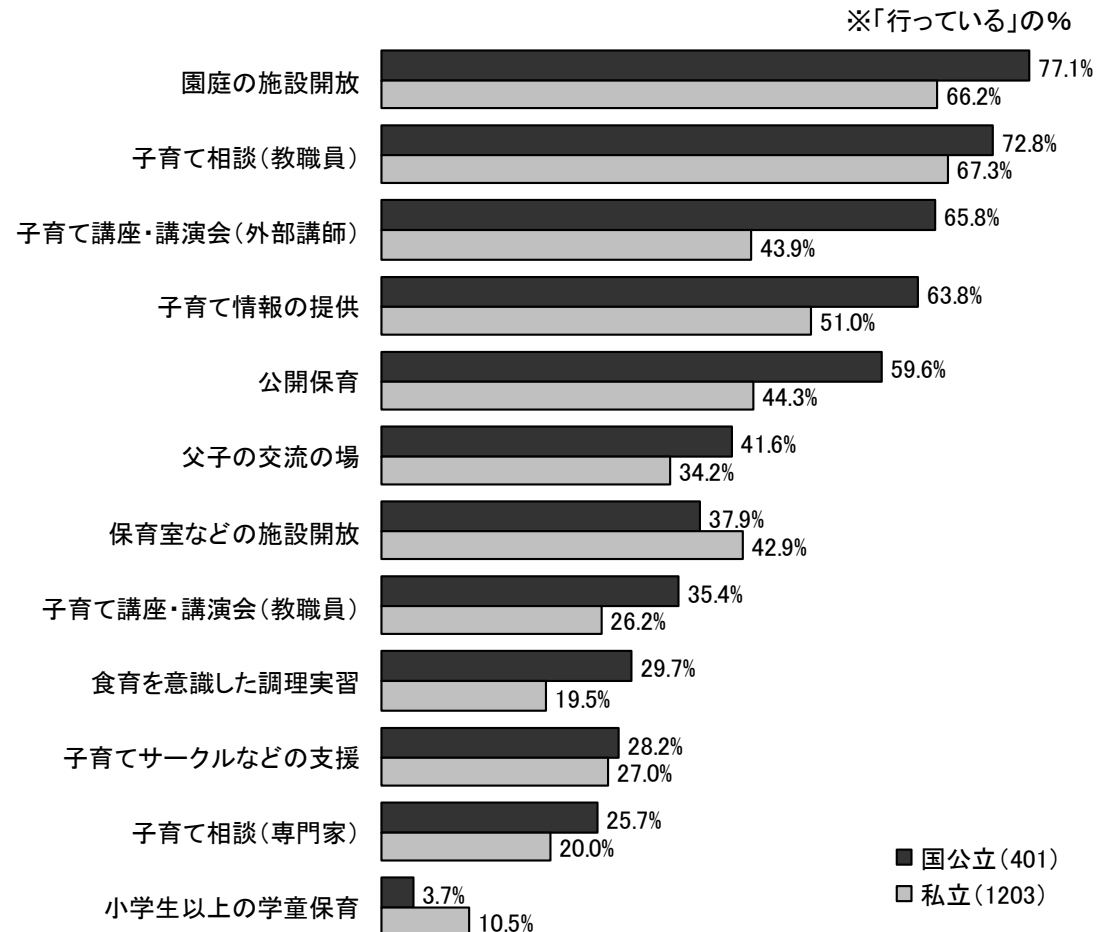


## 【子育て支援活動】 国公立とも「園庭開放」「園の教職員による子育て相談」を行う割合が高い



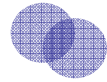
### ■ 様々な子育て支援活動：実施の有無

貴園での子育て支援活動についておたずねします。次にあげる活動を現在行っていますか。



国公立では多いものから順に「園庭の施設開放」が77.1%、「子育て相談(幼稚園教職員による)」が72.8%、「子育て講座・講演会(外部講師による)」が65.8%となっている。私立では「子育て相談(幼稚園教職員による)」が67.3%で最も多く、次に「園庭の施設開放」が66.2%、「子育て情報の提供」が51.0%の順となっている。

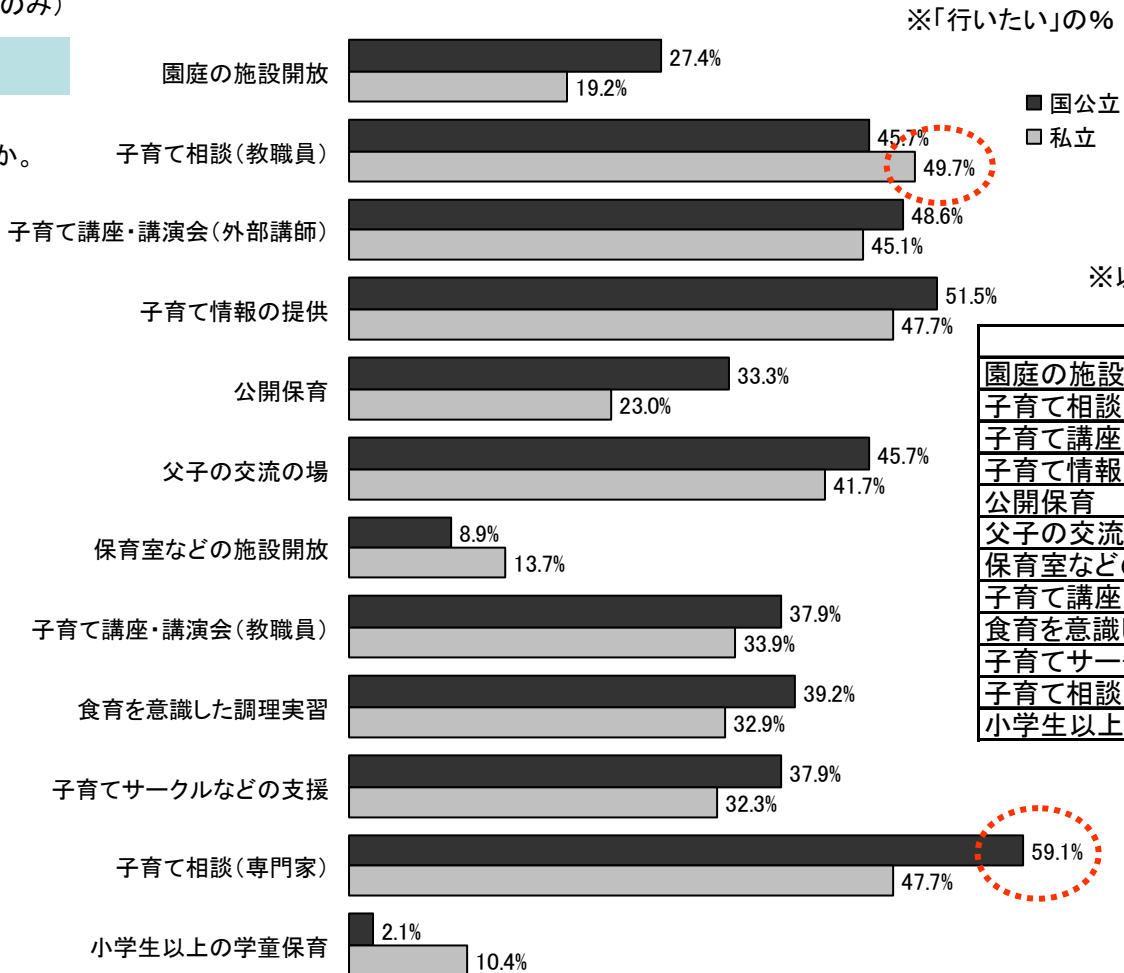
## 【子育て支援活動】 今後の実施意向が高い活動は、「子育て相談」である



(実施していない園のみ)

### ■ 今後の意向

今後行いたいですか。



※以下はサンプル数

	国公立	私立
園庭の施設開放	62	317
子育て相談(教職員)	81	302
子育て講座・講演会(外部講師)	105	517
子育て情報の提供	101	434
公開保育	117	499
父子の交流の場	184	612
保育室などの施設開放	213	553
子育て講座・講演会(教職員)	211	705
食育を意識した調理実習	237	776
子育てサークルなどの支援	240	687
子育て相談(専門家)	252	798
小学生以上の学童保育	328	875

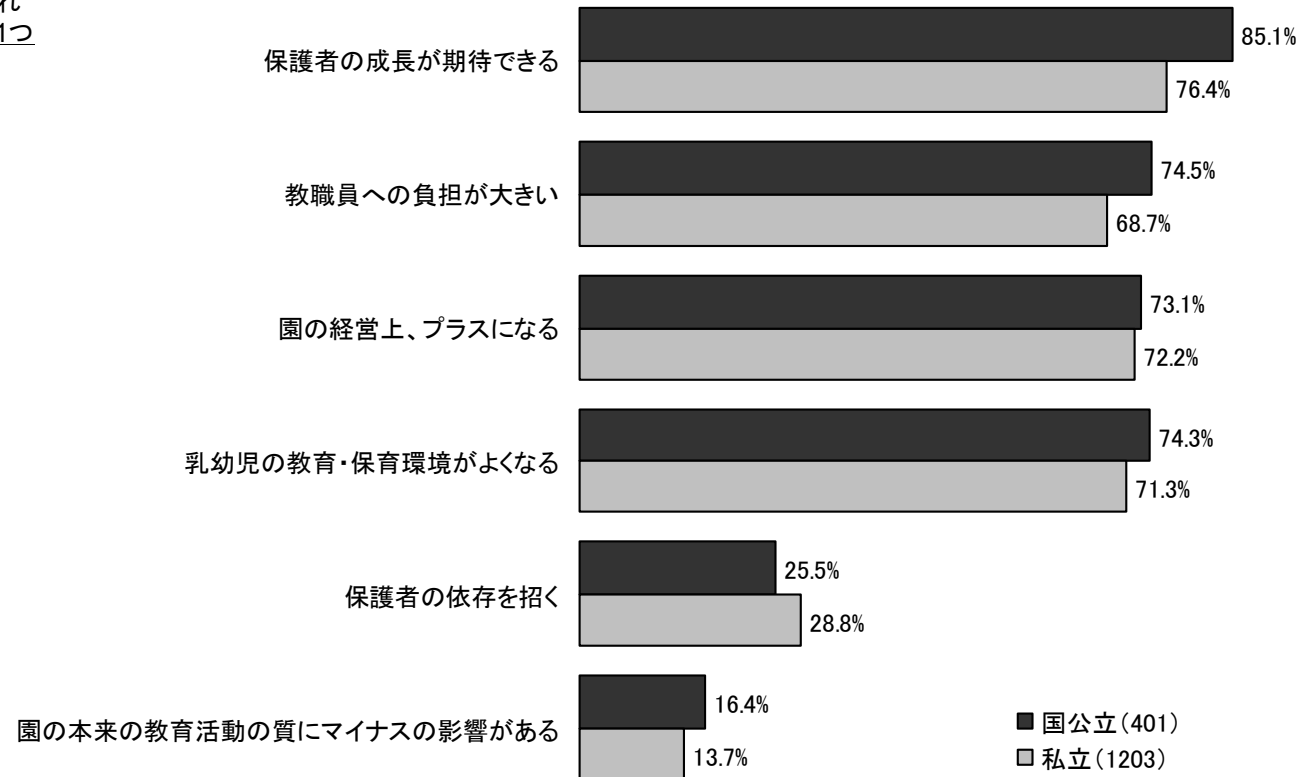
現在各活動を行っていない園のうち、「行いたい」割合が最も高い活動は、国公立では「子育て相談(カウンセラーなどの専門家による)」で59.1%、私立では「子育て相談(幼稚園教職員による)」で49.7%である。

## 【子育て支援活動】「期待」も大きい、「負担」も大きいと感じている

### ■ 子育て支援活動への意識

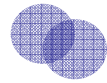
幼稚園で子育て支援活動を行うことについておたずねします。それぞれあなたの考えにもっとも近い番号1つに○をつけてください。

※「とてもそう思う」+「まあそう思う」の%



国公立ともに最も数値が高いのは、子育て支援活動のプラス面である「保護者の成長が期待できる」で、国公立は85.1%、私立は76.4%である。一方、国公立の74.5%、私立の68.7%で「教職員への負担が大きい」という項目も選択されている。

## 【子育て支援活動】 行政や自治体に支援を願う声も多い



### ■ 自由回答

※自由記述から一部抜粋したものである。できる限り、原文を重視したが、一部、文意を損ねない程度に、表現などを修正している。  
※記入率は、国公立36.7%、私立31.0%である。

幼稚園で子育て支援活動を行うことについての意見や要望をご自由にお書きください。

#### <期待する声>

- ・園を開放することによって、お互い(母親同士)不安に思っていることを話合うことができ、安心感を持つ。第三者(教師)のアドバイスによって、子どもとのかかわりを変えていける親は、子も変わる。
- ・集団の中で自分の子を見ることで、保護者にも入園前の準備の意識づけが自然とできると思う。
- ・いわゆる「子育て」という営みは子育てと親育ちがともに含まれるものです。しかし、行政の出してくる子育て支援は、多くの場合、親の子育て放棄支援になっている気がします。親が子育てに関心を深くするような子育て支援をどんどんやるべきです。
- ・人を育てる幼稚園においては必要なことだと思います。子を育てるのは、親を育てること。大切なことだと思います。
- ・「子育て」をとりまく、環境の変化により、子育て不安をもつ母親に対する支援、子どもたちの交流の場として、幼稚園が支援を行っていく意義は、大きいと思う。

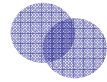
#### <実施面での課題をあげる声>

- ・必要な方(希望者)には積極的に支援したいと思うが、人的配置が少ない現在の状況ではニーズに応じるようにできずにくやしい。
- ・幼稚園教育を充実させるためには教師の資質を高めなければならない。そのためには、園内研修や園外研修に時間を費すことになる。保育室の施設開放や子育てサークルなどの支援にまでは手がとどかない状態である。
- ・限られた予算・人員の中で求められる支援活動が増え続け、日常の幼稚園業務が続々と圧迫されてきていると感じる。
- ・園舎、教職員数、園児数の現状では困難点が多々ある。それ相応の施設、設備と人的、資金面等々課題は多い。
- ・園で預かっている子どものための保育準備、園運営だけでも、かなりの重責務である。その上、子育て支援活動業務となると、どちらも片手間になりそうで不安。せめて、職員を継続的にフォローできる専門のスタッフ配置やシステムを構築してほしいと思う。
- ・保育所では、しっかりした補助があるが、幼稚園では全くないなど、市町村や自治体によって環境が違いすぎる。しっかりしたガイドラインが必要ではと考える。

#### <懸念の声など>

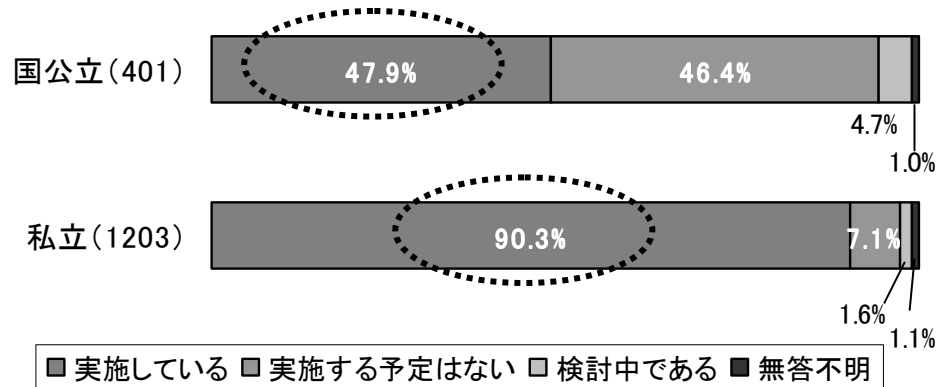
- ・サービスとまちがっている保護者が多いようである。自分の子どもは、自分で「しつけ」をすることが必要という意識が低い。
- ・安易に幼稚園に子どもを預ける傾向が感じられます。同時に、子育ての責任についても、他者への批判、排除という形になりやすいことがとても気になります。そのために、いろいろな活動をすすめることに、戸惑いがあります。
- ・本来の幼稚園教育から離れていくように感じる。現場の職員は、日々、園児だけでなく保護者との対応に追われるなか、もっと行政や地域などで子育て支援を工夫してもらえないだろうか。幼稚園だけに重荷がかかってくるように思う。
- ・様々な分野で子育て支援活動が行われているので特に幼稚園でということは必要ないと思っている。

## 【預かり保育】 国公立の47.9%、私立の90.3%が実施している



### ■実施有無

貴園では預かり保育を実施していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

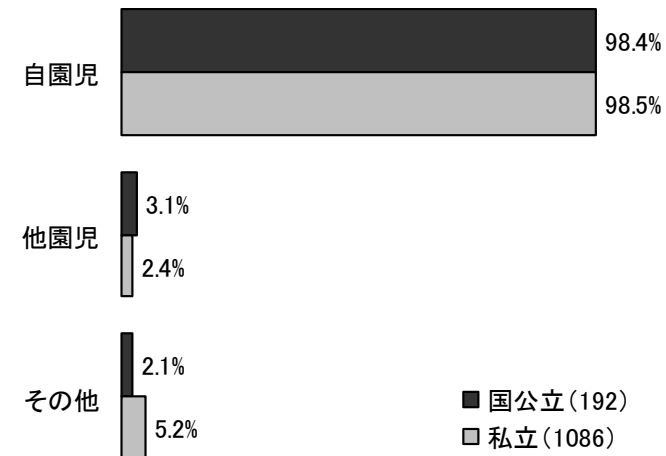


(預かり保育を実施している園のみ)

### ■対象

対象児について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

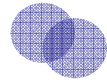
※複数回答



〈実施有無〉 預かり保育は、国公立の47.9%、私立の90.3%が実施している。預かり保育を行っていない国公立の園では、「検討中」よりも「実施する予定はない」と回答する割合が高い。

〈対象〉 預かり保育を実施している園のうち、ほとんどは自園児のみを対象としており、他園児を対象とする園は2~3%程度である。

## 【預かり保育】 私立の9割以上が、「平日に毎日」行っている

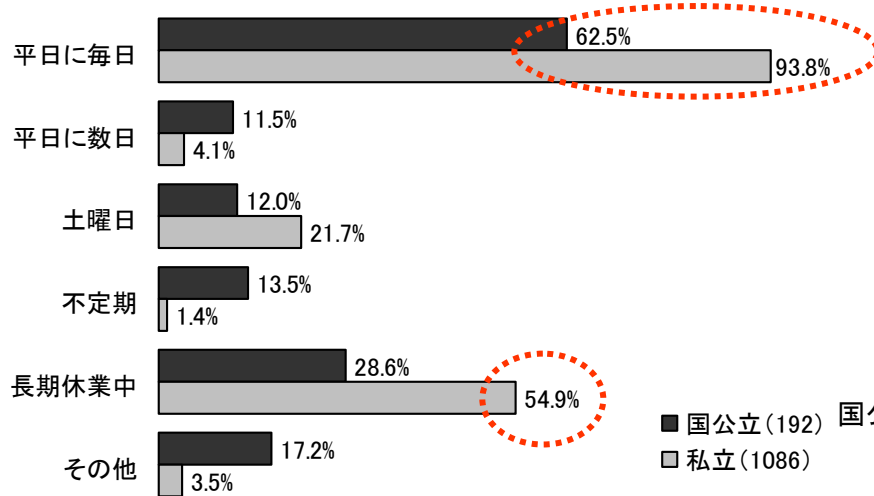


(預かり保育を実施している園のみ)

### ■実施日

※複数回答

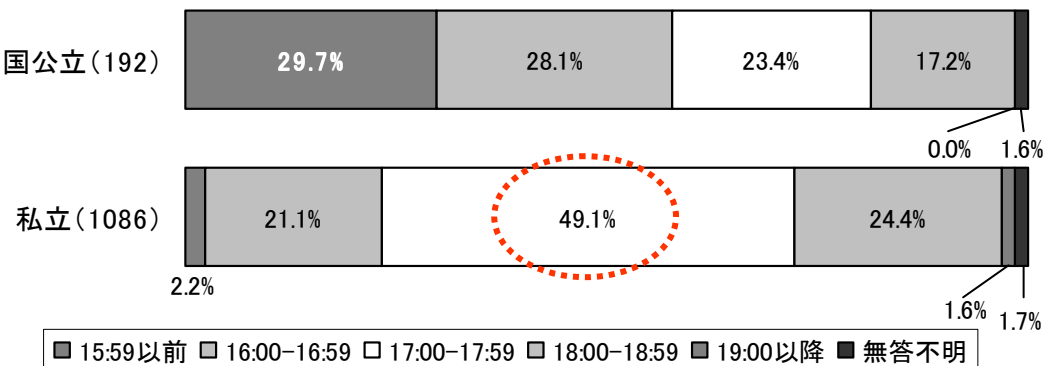
実施日について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。



(預かり保育を実施している園のみ)

### ■終了時刻

預かり保育が終了する時刻について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

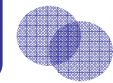


預かり保育を実施している園のうち...

〈実施日〉 国公立の62.5%、私立の93.8% が「平日に毎日」行っている。私立の54.9%は「長期休業中」も預かり保育を実施している。

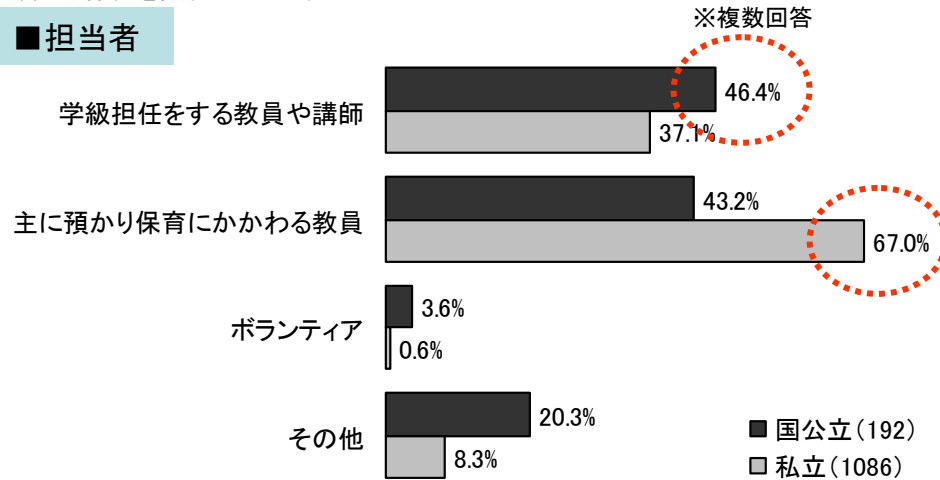
〈終了時刻〉 国公立は「16時より前」「16時台」がそれぞれ約3割ずつ、「17時台」が23.4%、「18時台」が17.2%と、終了時刻の時間帯が分散している。一方、私立では約半数が「17時台」に集中している。終了時刻が18時以降になるのは、国公立の17.2%、私立の26.0%になる。

# 【預かり保育】 私立の67.0%は「主に預かり保育にかかわる教員」が担当



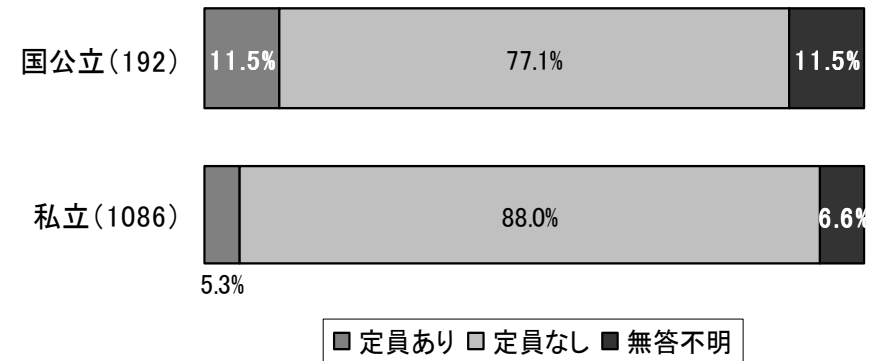
(預かり保育を実施している園のみ)

## ■ 担当者



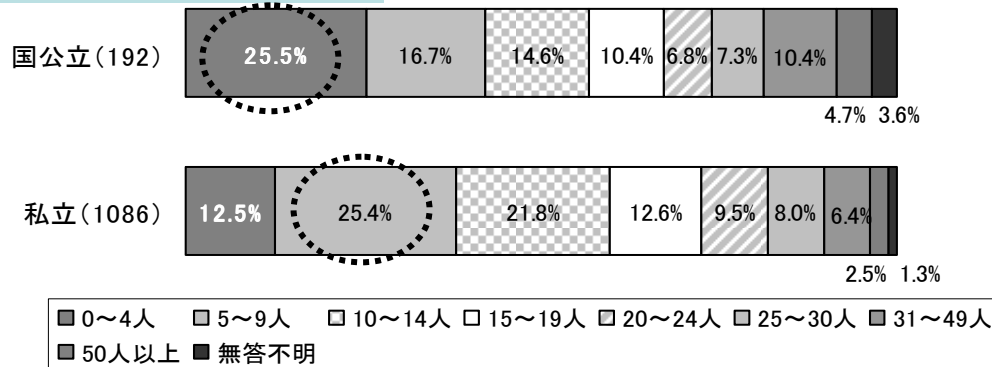
(預かり保育を実施している園のみ)

## ■ 平日1日あたりの定員の有無



(預かり保育を実施している園のみ)

## ■ 1日あたりの平均利用者数



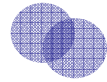
預かり保育を実施している園のうち...

〈担当者〉 国公立で最も多いのは、「学級担任をする教員や講師」で46.4%である。私立で最も多いのは「主に預かり保育にかかわる教員」で67.0%となっている。

〈定員の有無〉 特に定めていない園が多い。

〈1日あたりの平均利用者数〉 国公立では「0~4人」が25.5%と最も多く、私立では「5~9人」が25.4%と最も多い。

## 【預かり保育】「自由遊び」「絵本や紙芝居の読み聞かせ」が多い

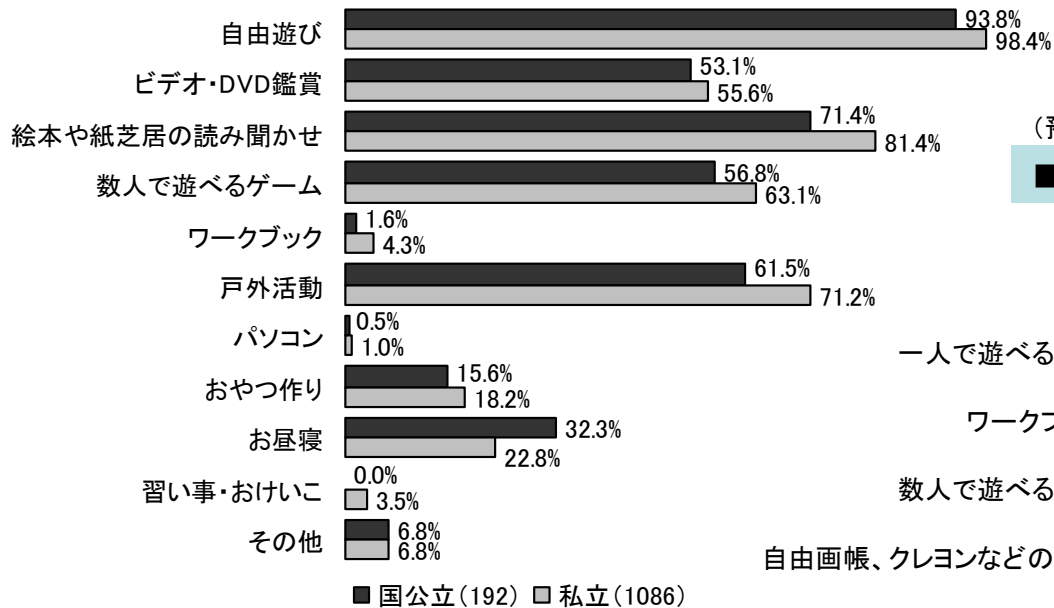


(預かり保育を実施している園のみ)

### ■ 活動内容

活動の内容について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

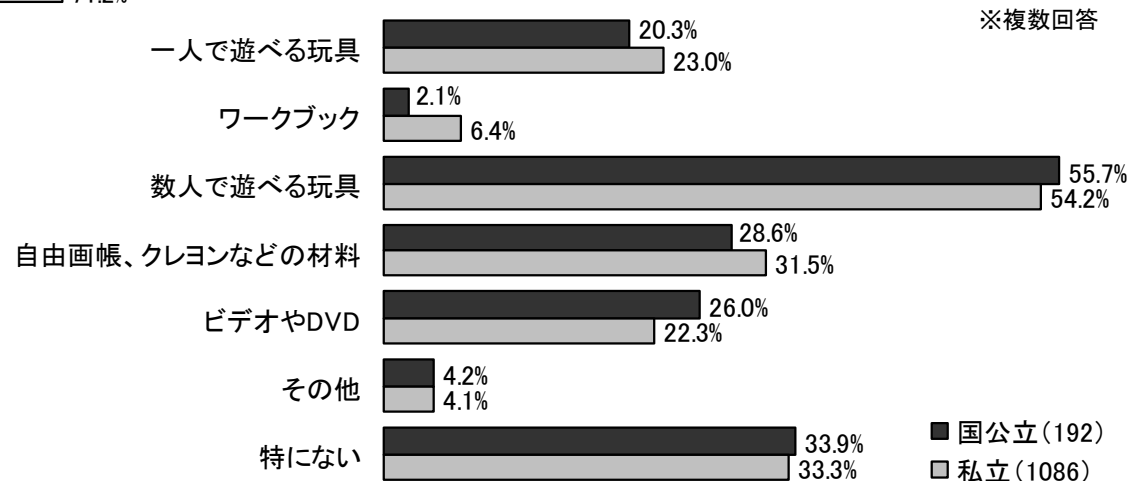
※複数回答



(預かり保育を実施している園のみ)

### ■ 必要な教材

今後預かり保育を充実させるうえで必要と思われる教材などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。



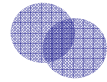
預かり保育を実施している園のうち...

〈内容〉国公立で傾向は大きく変わらない。「自由遊び」「絵本や紙芝居の読み聞かせ」「戸外活動」「数人で遊べるゲーム」「ビデオ・DVD鑑賞」などが多い。

〈今後充実させるうえで必要な教材〉「数人で遊べる玩具」が最も多く、国公立で55.7%、私立で54.2%である。一方、「特にない」の回答は、ほぼ3園に1園となっている。



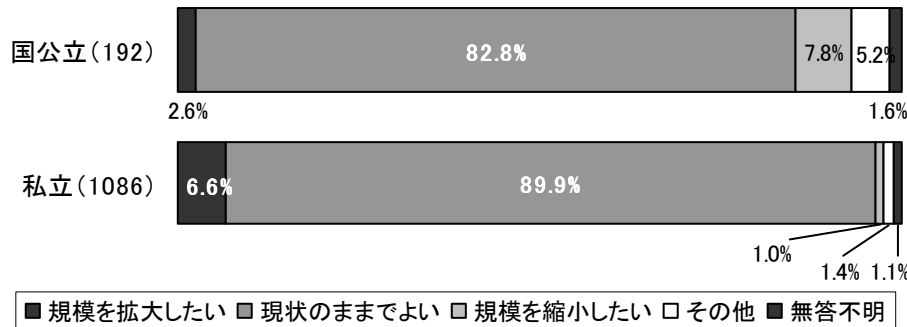
## 【預かり保育】 今後については、8割以上が「現状のままでよい」と回答している



(預かり保育を実施している園のみ)

### ■ 今後の予定

今後の予定について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

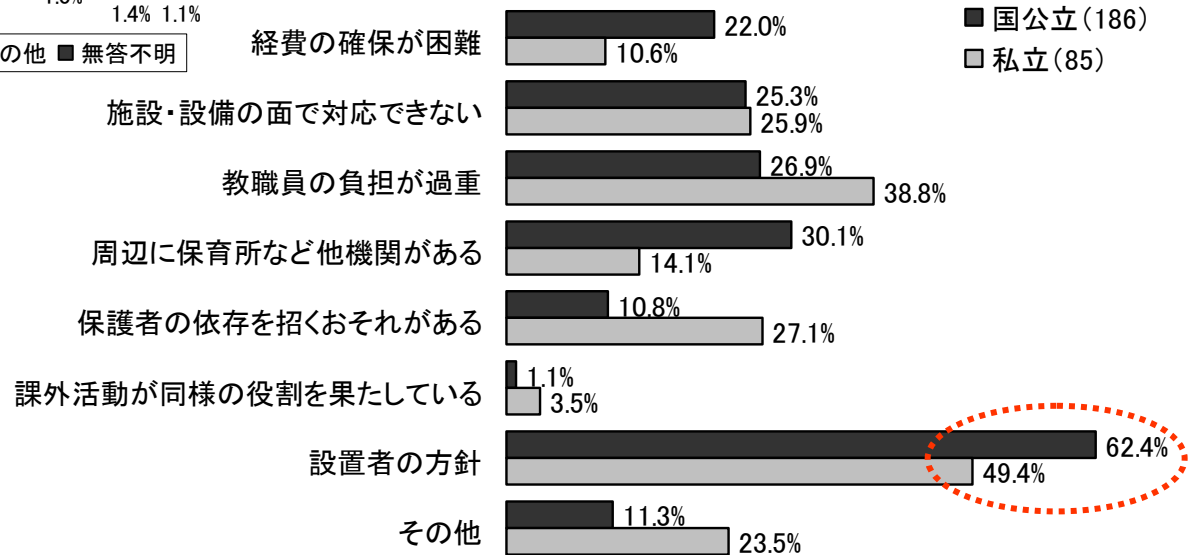


(預かり保育を実施していない園のみ)

### ■ 実施する予定がない理由

預かり保育を実施する予定がない理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

※複数回答



〈今後について〉 預かり保育を実施している園のうち、今後については「現状のままでよい」が最も多く、国公立82.8%、私立89.9%である。一方、国公立の7.8%は「規模を縮小したい」と回答している。

〈非実施理由〉 預かり保育を実施していない園のうち、国公立ともに最も多い理由が「設置者の方針」で、国公立は62.4%、私立は49.4%である。次に私立では「教職員の負担が過重」が38.8%、「保護者の依存を招くおそれがある」が27.1%とい